

【発行】

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会  
東北中国帰国者支援・交流センター  
〒980-0014  
宮城県仙台市青葉区本町3-7-4  
電話：022-263-0948/022-223-1152  
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

# 香菜通信

## 移動日本語交流会 (福島県)

4月25日 (木)

福島県・郡山市のご協力のもと、郡山市総合福祉センターにおいて、移動日本語交流会を開催しました。福島・宮城両県から36名が参加。調理・歓談・アンケートの3グループに分かれ、有意義な時間を過ごしました。

おふくろの味のひとつ、豚汁と炊き込みご飯の調理に挑戦した方からは、「初めて豚汁を作った」「美味しくできて嬉しい」などの感想が聞かれました。また、歓談グループのなかには、同じ日に日本へ帰国した友人と、25年ぶりに再会を果たした方もおられました！



尾形所長と交えて



具だくさん豚汁と炊き込みご飯



離れて暮らす帰国者の皆さんが集える貴重な機会。今後も、ひとりでも多くの方が参加できる場を提供できればと思っています。



アンケートにご協力いただきました



ハーモニカの演奏♪



「おふくろの味は、いかがですか？」



## 移動日本語交流会 (岩手県)

5月23日 (木)

岩手県との共催により移動日本語交流会を開催しました。爽やかな好天に恵まれた当日、小岩井農場めぐりのバスツアーでは、日本語でガイドさんの説明を聞き、一般非公開の生産現場や農場の120年を超える歴史や自然に親しむことができました。また、色とりどりの羊毛を使った「まきまき羊」「つめつめ羊」作りを体験すると、かわいらしい出来栄に皆さん大満足の様子でした。

つなぎ温泉清温荘では、温泉入浴体験・意見交換会を通し交流を深めました。今回初めて交流会に参加された方は、「初めて会った方も、古くからの親しい友人のように感じられた」と、とても喜んでおられました。



「まきまき羊」「つめつめ羊」作りに挑戦



支援者さんと



岩手山を背景に



「交流会は、いかがでしたか？」

### ボランティア研修会 5/23 (木)

岩手県の支援者の方々を対象に、研修会を実施。中国帰国者定着促進センターの馬場氏より「帰国者支援の課題と学習支援」と題し、ご講演いただきました。

なかでも、介護支援や就労支援等、各世代における喫緊の課題に関しては、支援者の方からも質問が出され、貴重な意見交換の場となりました。



### 就労コーナー 就労研修会 6月11日(水)

「就労に必要な心構え」

昨年度工場見学をしたオートランドリータカノの若生工場長よりお話をいただきました。工場では「挨拶」と「常に感謝の気持ちを持つこと」を徹底なさっています。「これらは、どの職場においても必要とされます。仕事とは、お金を得ることだけではなく社会に貢献すること。何かしたいのなら、一歩前へ踏み出して下さい。お子さんやお孫さんに仕事の大切さを教えて下さい」とご指導いただきました。

(職業相談員：今村)



### 仕事、がんばっています！

私は、30代後半の時、職業訓練所の課長さんに仕事を紹介されました。今まで16年間ぐらい働いています。入社したばかりの時、何も分からなかったので、一生懸命働きました。「檜野さんが来るようになって、会社のふんいきが良くなり、明るくなりました。みんなと一緒に働く様子を見て安心しました。長く働いてほしい」と、上司の人に褒められました。一緒に働いた先輩は私の母のように、手取り足取り教えて下さいました。私は信頼されて、友だち関係を作ることができて、うれしかったです。今、安心して仕事を楽しくやっているので、生きがいのひとつになっています。

Vol. 2 檜野淑子さん(宮城県)

### ボランティア活動に参加して



門馬勝夫さん(福島県) 活動用のエプロン姿で

今、私は元気で日本語も少しできるから、社会に恩返ししたいと思い、老人保健施設「にじのまち」でボランティアをしています。最初は慣れなくて、お茶を入れると溢れたり、配膳の箸を落としたり、テーブルを拭くと花瓶が倒れたりして、がっかりしましたが、職員さんや仲間にも励まされ丁寧に教えてもらい、だんだん上手になりました。朝、利用者さんを玄関でお迎えし、お見送りするまで、レクリエーションや配膳の手伝いをしたり、休憩時にお茶を出したりします。皆さんは御不自由な体で難しい工芸や手芸に挑戦し、その見事な出来栄に私は感動しました。大切な人生の生き方を学びました。これからも2級ホームヘルパーとして、精一杯ボランティア活動をしたいと思っています。

### 「県民防災の日」6.12防災訓練に参加

各教室にて、速やかに身の安全を確保し、講師や職員の指示・誘導に従って集合訓練を行いました。

#### 外国人県民のための防災ハンドブック

宮城県から、多言語による防災ハンドブックが発行されました。下記、宮城県国際経済・交流課ホームページからダウンロードできます。尚、冊子をご希望の方はセンターへご相談ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ftp-kokusai/bosai-handbook.html>



#### 帰国者とその家族のための防災カード

持病やかかりつけの医療機関、緊急連絡先、避難場所等を書き込める「緊急・防災カード」を作成しました。お財布などに携帯し、いざというときに役立ててください。詳細は、センターのホームページでご覧いただけます。



防災コーナー

### 日本語講師紹介



秀真知子先生

帰国者の皆様とのお縁は20年以上になります。

病気で暫く授業を離れていましたが、4月から漢字クラスの担任になり、受講生の皆様と一緒に「魔法の漢字学習法」を探しています。

### 25年度センター職員体制

所長：尾形正行  
企画主任：佐藤千恵  
教務主任：咲間昭一  
事務担当：熊谷明美  
職業相談員：今村秀也  
生活相談員：高 娜  
地域支援コーディネーター：石黒陽子  
通訳：戸田麗穎

宜しくお願い致します！

### 7~8月の予定

7月10日(水) 就労支援：ポリテクセンター宮城見学  
※次回センター研修テーマ：「災害時の避難について」

### HPリニューアル

東北中国帰国者支援・交流センターのホームページが新しくなりました！ぜひご覧ください。

<http://www.miyagi-sfk.net/china>

編集後記：ボランティアの体験をお寄せ下さった門馬さんは、現在70歳。週2日、朝から夕方まで元気に活動なさっておられます。原動力となっている「社会に恩返しを」との思い、「日本語」と「介護保険制度」の勉強を」との向上心に頭が下がります。1世代が直面する介護の問題を前に、心が元気になるメッセージをいただきました。(石黒)